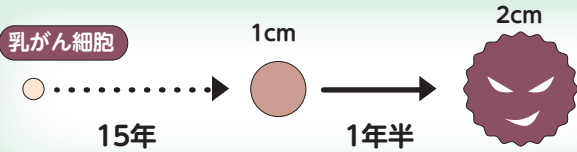


## ●「がん検診 愛する家族への 贈りもの」 ～10月は、がん検診を受けようキャンペーン月間～

日本人の2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなっています。がんは自覚症状のないまま進行していきますので、気づいたときには手遅れ・・・ということも少なくありません。がんの診断や治療法は急速に進歩しています。早期に発見し、適切な治療を受ければ完治できる時代となりました。そのため、定期的に検診を受けることが大切です。

### 定期的な受診が必要なわけは？

例えば乳がんの場合、1つの細胞が1cmのがんになるには15年ほどかかります。ところが、1cmのがんが2cmになるのに必要な期間は、わずか1年半といわれています。去年の検診で発見されなかったがん細胞が今年発見される可能性があり、2cm以下の早期乳ガンを発見するためには検診を1～2年ごとに受ける必要があります。



命を守る大切な検診。市の各種がん検診や、職場の検診を利用して、ぜひ受診しましょう！

市のがん検診は、11月まで実施しています。  
詳しい情報は、保健センター(☎048-256-2022)へお問い合わせください。



## ■乳房再建

川口市立医療センター

乳腺外科 部長 **中野 聡子**



乳がんの手術方法には乳房温存手術と乳房切除術があります。

乳房温存術は、がんをきちんと切除し乳房の形が残る点では一番良いのですが、切除範囲が大きくなると乳房の変形や断端にがんが残ってしまうリスクもあります。アメリカでは日本よりも乳房再建は一般的で、無理な温存よりも乳房切除し再建するという選択肢があります。

乳房再建には、自家組織と人工物による再建があります。自家組織は、自然な柔らかさや温かみがある一方、健常な他の部分に傷ができる欠点があります。人工物は、耐用年数があり、入れ替えが必要な場合もありますが、健常な部分に傷がつかないのが最大の利点です。乳がんが早期の状態、術後の薬物療法や放射線照射の可能性が少なければ、がんの手術と同時に皮膚拡張器を入れることも可能です。

日本でも、一昨年6月に乳がん全摘術後の乳房再建に用いる人工乳房(皮膚拡張器、シリコン)が保険適応となりました。それまでは、自費診療で約100万円でしたが、保険適応となり自己負担は3割になりました。人工乳房の普及を背景に、乳房温存手術の割合が減少傾向に転じたというニュースも報じられました。

乳房再建を行う時期は、いつまでという決まりはありません。前向きに病気に立ち向かうため、自分を取り戻すため、あるいは、お子さんに言われて、など再建を望むかたちのきっかけはいろいろです。“がんで失ったものを取り戻す”ことをお考えのかたは、ぜひ一度、ご相談ください。



## ものづくりの魂を未来へ

荒川沿いの鋳物工場。1500度を超える湯と呼ばれる鉄を、火花を散らしながら鋳型に鋳込む。「ちよっとしたミスが事故につながる。一瞬の気も抜けない作業だ」と、厳しい顔つきの中にものづくり魂のぞき見える。

小さいころ、久喜から川口の親戚が経営する鋳物工場に遊びにきては、芝川で泳ぎ、沢ガニ釣りをして過ごした。「今、考えられないね」。当時屋になる運命だったのかも知れないね。当時は中学卒業後すぐ働く人が多い中、川口工業高校へ進学し、卒業後親戚の鋳物工場に養成工として入社。ものづくりの道へ進んだが、先に入社していた同年代に技術で負けるのがとても悔しかった。仕事が終わると寮で参考書を読みあさり、休みの日には鋳物講習会に通うほど必死に勉強した。「勉強は嫌いだけど、なめられるのもつと嫌だった」と厳しい修業時代を振り返る。

ものづくりは、技能と技術を求められる。技能は仕事で、技術は参考書などで体と頭にたたき込んだ。学んだ技術を現場で実践し、自分の力として蓄える。その努力は惜しみな

埼玉県技能士会連合会会長  
埼玉鋳物技能士会会長

飛高 ひだか

利美 としみ  
(本町1)



近年、ものづくりの世界もマニュアル化が進み自分で考える事が減っている。ものづくりの衰退を危惧し、断り続けていた埼玉県技能士会連合会会長を、今年の4月に引き受けた。今では、ものづくり全体の発展に奔走する。

「誰かがやらない」という思いから、工場見学の受け入れや学校への出前授業も積極的に「一番現場を見て欲しいのは、子どもも親。現場を理解し、ものづくりに興味がある子どもたちを応援して欲しい」。技術は進歩しても、技能が伝承しなければ途絶えてしまう。この国を支えてきたものづくりの魂が未来へ受け継がれていくことを願う。(ま)

## 還付金詐欺に注意! 防犯

市内では、今年に入ってから7月末までに41件、約1億6千万円もの振り込み詐欺被害が発生しています。特に、市役所など公的機関の職員をかたった還付金詐欺被害の発生が増加しています。

### 被害防止の心得

- 市役所職員(公的機関の職員)が電話で銀行口座・暗証番号などの個人情報問い合わせたり、ATMに入金依頼することは絶対にありません。
- 「携帯電話を持ってATMへ」と言われたら還付金詐欺を疑いましょう。
- 自宅などに公的機関の職員をかたる電話がかかってきた場合は、関係機関や近くの警察署に相談しましょう。



### 相談窓口

- ・川口警察署 ☎048-253-0110
- ・武南警察署 ☎048-286-0110

問 防犯対策室 ☎048-242-6361